

輝け 常葉っ子

いつも、こころに太陽を持って！くちびるに歌を持って！
「心に太陽を持って」（山本有三）より

心に太陽を持って。あらしがふこうと、ふぶきが こようと、天には黒くも、地には争いが絶えなかりと、いつも、心に太陽を持って。くちびるに歌を持って、軽く、ほがらかに。自分のつとめ、自分のくらしに、よしや苦勞が絶えなかりと、いつも、くちびるに歌を持って。苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。

「勇気を失うな。くちびるに歌を持って。心に太陽を持って。」（ドイツの詩人、ツエーザル・フライシュレン作）

※児童文学者・山本有三さんの紹介による詩

365日の紙飛行機 (AKB48)

くちびるに歌を！いつも心こころに太陽たいようを！
「心こころに太陽たいようを持って」（山本有三）

朝あさの空そらを見上げて 今日きょうという一日いちにちが
笑顔えがおでいられるように そっとお願いねがした

時ときには雨あめも降ふって 涙なみだも溢あふれるけど
思いおもい通りにならない日は 明日あした 頑張がんばろう

ずっと見てる夢ゆめは 私わたしがもう一人ひとりいて
やりたいこと 好きすきなように 自由じゆうにできる夢ゆめ

人生じんせいは紙飛行機かみひこうき 願ねがい乗のせて飛とんで行いくよ
風かぜの中なかを力ちからの限かぎり ただ進すすむだけ
その距離きょりを競きそうより どう飛とんだか どこを飛とんだのか
それが一番いちばん 大切たいせつなんだ
さあ 心こころのままに 365日にち

星ほしはいくつ見えるか 何も見みえない夜よるか
元氣げんきが出でない そんな時ときは 誰だれかと話はなそう

人生じんせいは紙飛行機かみひこうき 愛あいを乗のせて飛とんでいるよ
自信じしん持もって広ひろげる羽根はねを みんながみあがる
折おり方かたを知らなくても いつのまにか飛とばせるようになる
それが希望きぼう 推進すいしん力りよくだ
ああ 楽たのしくやろう 365日にち

校長先生が小学校5年生の時に、担任の先生が紹介してくれた詩の中の言葉が、「心に太陽をもて」「くちびるに歌をもて」でした。自分で自分をはげますことのできる言葉でとても心にのこっています。

もうすぐ冬休み、常葉小のみなさん、毎日さまざまなことがんばりましたね。この詩と同じように自分がはげまされる詩、まえむきになれる詩がないか探したところ、「365日の紙飛行機 (AKB48) の」詩がぴったりあっているなと思いました。

12月22日の全校集会では校長先生のお話の時間にこの歌をみんなで歌って、おたがいにがんばった自分、友達をはげまし、希望をもって冬休みをむかえましょう。

18日(月)から22日(金)まで、昼休みにCDを流します。歌詞(かし)カードもわたしますので、歌えるようにしてくださいね！

